



# 広島東南ロータリークラブ 週報 2018年5月21日 (第2695回例会)

例会日 月曜日 ANA クラウンプラザホテル広島 Tel. 241-1111  
事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 Tel. 221-4894  
会長 伊藤正樹 幹事 菅 富誉樹



5月は「青少年奉仕月間」です

## 本日の例会

### スケジュール

**12:30 点 鐘**  
ロータリーソング「それでこそロータリー」  
来客紹介 (親睦委員会)  
会食  
**12:45 会長時間** (伊藤会長)  
**幹事報告** (菅 幹事)  
委員会報告  
・出席報告 (出席委員会)  
・その他  
同好会報告  
S.A.A.  
**13:00 プログラム**  
**13:30 点 鐘**

### 会長時間

#### 幹事報告

- 退会のお知らせ-檀上敏郎会員
- 例会終了後、会員増強緊急インフォーマルミーティング開催
- 本日 18:30 ~本年度・次年度合同クラブアッセンブリー開催

#### 本日のプログラム

「新会員スピーチ」  
安居院徳重 会員 (株式会社鴻池組)

#### 次回例会 (5月28日)

「クラブフォーラム」  
広報・記録委員会

## お知らせ



連続100%出席表彰-伊藤正樹君20年



連続100%出席表彰-神辺眞之君15年



連続100%出席表彰-高木康一君1年



2018-19年度  
グローバル補助金  
奨学生  
宮田春香さん  
(キングスカレッジロンドン)

カウンセラー  
菅 富誉樹会員



2018年度  
米山記念奨学生  
サバルバイ  
ジャミリヤさん  
(広島大学医学部)

カウンセラー  
天野 國幹会員

### 今後の予定

- ★本・次年度合同クラブアッセンブリー  
とき 5月21日(月)18:30~  
ところ ANAクラウンプラザホテル広島  
出席 (本次)理事,役員,委員長,リーダー
  - ★子育て支援セミナー  
「親子でわくわくリトミック」  
とき 5月23日(水)10:30~11:45  
ところ 安佐南区区民文化センター2F
  - ★インターアクト指導者研修会  
とき 5月27日(日)13:00~  
ところ 呉工業高等専門学校
  - ★クラブ戦略計画フォーラム  
とき 5月27日(日)13:30~16:30  
ところ ホテルグランヴィア広島
  - ★第23回全日本R.C親睦合唱祭  
とき 6月2日(土)12:30~  
ところ 福井市(ホスト:福井南RC)
  - 最終例会・懇親会(例会変更) **予告**  
とき 6月25日(月)18:30~  
ところ ANAクラウンプラザホテル広島
- (★はメイクアップ対象会合です)

## 前回 2018年5月14日例会

## 卓話「新会員スピーチ」

(株) 広島銀行 荒木裕三会員

## 社員採用にまつわる諸課題について ～「人」に関する楽しさ、難しさ～



広島銀行の荒木と申します。昨年の7月に錦織様、山下様にご推薦いただき、広島東南 RC に入会させていただきました。今日は、新会員スピーチということで貴重な時間を頂きまして恐縮しております。

私は現在、採用や研修の担当しております。強烈な売り手市場という、企業にとっては逆風の中、御多聞にもれず、人材確保にはとても苦労しております。30代、40代の時も、一時、採用業務に携わっております。採用活動を通じて景気の変化や社会情勢の変動を目の当たりにしてきましたが、その中で人に関わることの楽しさ、難しさについて、自分なりに感じたことをまとめてみました。丁度、时期的にも一般企業にとっては新卒採用の時期ということで、本当に私見ではありますが、お付き合い戴ければと存じます。

**1** まずは、正社員を採用するという事は、超長期での投資ですね。そして、日本の法制では、一度採用したなら、簡単には解雇できません。契約社員といえども、複数回更回していれば、企業側の都合による契約満了退職はなかなか難しいものです。

人材確保に汲汲とする時代ではありますが、採用してから“失敗だった”と言っても正直遅いと思いますし、採用という入口できっちり見極めれば、以後の労務リスクも少なくなると思います。

**2** 採用試験の一般例ですが、その前提となる採用の大原則として、①能力、②意欲、③適性のこの3点で見極めてください、というものがありません。逆に言えば、この3点以外で採否を決定してはならない、ということです。

こうした中、面接、筆記試験、エントリーシート、インターンシップ等々、各企業とも工夫をされていると思いますが、課題、問題点もあります。

面接では、やはり人が人を見るのに神の手はないと思われまして、筆記試験の点数や職務適性が高いと出ても、実際仕事をやってみないと本当とも言えないかな、と思います。

また、エントリーシートや作文では、正直、何でも書けますし、インターンシップを取り入れようと思えば、受け入れ準備に大変な労力もかかります。

現在、採用試験の主流は面接と筆記試験の組み合わせとなっております。そして最終決定は面接重視というのが時代がどうであれ、殆どの企業がそのようにされているものと思います。

**3** 面接での留意点ですが、これまでの経験から感じていることを私見ですが、何点か申し述べさせていただきます。

### 「未来・将来を語らせるよりも、徹底的に過去を聞いてみる」

未来・将来は不確定であり、応募者がシナリオを作れば何なりと話せますが、過去の話は事実であり、決して消せません。過去の出来事や生き様をしっかりと聞いて、応募者の思考・行動パターンを探り、自社業務への適性を判断していくのがよろしいかと思います。

### 「人間の好悪の感情について留意する」

自分で面接をやってみて感じたことは、自分に似た人(行動・価値観)については、特に親近感を覚えるということです。

また逆に、自分と真反対なタイプには、自分にはないものを備えているように感じられるため、親近感は覚えないものの、憧れであったりであり、大変気になったりするものだと思います。

人間なんてそうしたものだ意識していれば、客観的に面接ができ、公平・公正な判断ができるのでは、と思います。

### 「基本的人権を尊重した面接に留意する」

先ほど述べさせていただきました採用の大原則(能力・意欲・適性)と関係ない質問は不可です。ついつい、親の職業とか雑談の延長線上で聞いてもいいか、となりますが、親の職業等は応募者の方の能力・意欲・適性には何ら関係ない事項ですね。

人権に関する意識・感性をしっかり持って、面接に臨む必要があるのは、言うまでもありませんね。また、圧迫面接というか、無理難題のような質問をして、応募者の方の反応を見るという手法も昭和の時代にはありましたが、このようなやり方は時代遅れであり、現代にはマッチしない、そぐわないやり方だと思いますので、よく留意しておく必要があるものと考えます。

最後に学生さんから就職に関してアドバイスを求められた時は、こんな風に言っています。

「就職活動を始めるに当たって、まずしっかり自己分析をしてください。人生を振り返り、最大の挫折や一番感激したイベントは何か、またなぜそう思うのか考えてみてください。企業は皆さんの語る過去を通じ、自社に合うかどうかを見極めようとしています。将来を雄弁に語るだけが面接ではありません。さあ、頑張ってください!!」と。

ご清聴、ありがとうございました。

以上

地区研修・協議会参加報告

次年度幹事 大井克元

2018年5月13日(日)広島国際会議場にて午後1時より国際ロータリー第2710地区2018-19年度地区研修・協議会が開催されました。当クラブからは吉田会長エレクトをはじめとして小松原・武士末両次年度副会長、錦織・柄・佐々木次年度理事、田上・中畝・成宮・山仲・藤元次年度リーダー、天野次年度委員、次年度幹事大井の13名が参加致しました。



本会議(広島国際会議場)

合同本会議第一部は吉原ガバナーエレクトの点鐘、国家斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」合唱で始まり、吉原ガバナーエレクト挨拶、金子次年度地区研修リーダー、藤中ガバナー挨拶に続き、吉原ガバナーエレクトより「次年度 RI テーマと地区運営方針」につきご説明がありました。バリー ラシン 2018-19年度国際ロータリー会長の会長テーマは「BE THE

INSPIRATION (インスピレーションになろう)」です。吉原ガバナーエレクトは次年度地区ガバナー信条を「輝こうロータリー ふたたび」とされ、また RI 会長テーマに関しても、「鼓舞する人」、「感化し・自信を取り戻させる人」になろうと独自の解釈を披露されました。

休憩をはさみ2時30分からは会長・幹事、クラブ管理運営、公共イメージ、会員増強、奉仕プロジェクト①、奉仕プロジェクト②、ロータリー財団、米山記念奨学会の各部門に分かれ分科会が開催されました。各部門分科会に於いて地区の方針説明、質疑応答、事例発表などが活発に行われました。当クラブからは山仲国際奉仕次年度リーダーが南スーダン受け入れに関し事例発表をされました。4時15分からは再び本会議場に移動し、合同本会議第二部が開催されました。次年度地区大会に関する尾道 RC の PR、金子次年度地区研修リーダーによる各分科会の講評の後、吉原ガバナーエレクトの謝辞をもって無事研修・協議会が終了しました。

その後、会場をホテルグランヴィア広島に移し、多くの協議会出席者が参加した懇親会が盛大に開催されました。他クラブとの交流、親睦も図ることができ、協議会、懇親会を通じ次年度のクラブ運営に大変有意義な一日となりました。




2018-19年度会長  
バリー・ラシン  
East Nassau ロータリークラブ  
(V/V マニュープロビデンス島)  
医療機関顧問

2018-19年度 RI 会長テーマ  
**BE THE INSPIRATION**  
「インスピレーションになろう」



バリー・ラシン次期RI会長  
メッセージ 要旨(1)

「ロータリーのビジョン声明  
私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

奉仕における「持続可能性」をロータリーでの合言葉としましょう。真剣にそう思うなら、10年後、20年後、50年後、または100年後の世界、私たちの活動が終わった後(この世を去った後)にも未永く続く変化を生みます。私たちが決して会うことのない人、最愛の人を含め子孫たちの世代の人に対しての変化をもたらしましょう。

バリー・ラシン次期RI会長  
メッセージ 要旨(2)

「ロータリーの魂、すなわち、より良い世界への切望、そして、より良い世界を作ることは可能だという、心の奥深くにある真の自覚を呼び起こすことから始めてください。それを今晚、この場で一緒に、「インスピレーションになろう」という2018-19年度のテーマとともに始めてもらいたい。」

地区ガバナー信条と地区運営方針  
ガバナー信条  
「輝こうロータリー ふたたび！」

基本的目的  
「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」

ガバナーエレクト 吉原 久司

## — 第 2 回国際刑事裁判所研修中間報告 —

ロータリー財団学友(2016-17年度グローバル補助金奨学生) 西山 秀平

オランダの春(2度目)

前回の報告以来、ずっと少し暖かい週と寒い週を繰り返してきていたのですが、4月の半ばが過ぎたあたりから、ようやく気温も上がり始め、日も長くなり、オランダでも春陽気と言った様相を呈して参りました。とはいえ、雨は相変わらず降っております。昨年は新鮮であった、チューリップも国王誕生日も今年もそんな時期になったのだなど、すっかりオランダ人気取りになってしまっております。

インターン業務

3月8日に、配属されていた被害者救済に関する上訴判決が2件下されました。1件は、マリの事件で、世界遺産にも登録されている、ティンブクトゥというイスラム教の建造物の破壊に関するもので、国際刑事裁判所で文化財の破壊について扱った初めての事件になります。こうした破壊行為により被害を受けた人々・コミュニティに対してどのように救済を行うのかは、今後も重要な課題になってくる(特にISIS関連において)と思われまます。もう1件は、内戦中にコンゴの集落において行われた破壊・略奪行為の被害者の救済に関わるものでした。この判決では、限られた予算の中で、いかに被害者に満足いく形での救済を行えるかが鍵となっていましたが、被害者の受けた傷を金銭により数値化することの困難さ、具体的には、被害額の計算方法・予算に応じたダウンスケールの仕方・被害の証明方法などの点においての議論がなされました。どちらの判決も今後の国際刑事裁判所の被害者救済に影響を与える大事な判決になってくると思うので、これらに関わったことは自分自身にとっても大きな財産になったと実感しております。(写真下段左端)



また、3月の半ばには任期切れの判事に変わって新しく選挙において当選された判事の方々の就任式が行われ、その式典の手伝いをする傍ら、新しく日本から来られる赤根判事ともお話しさ

せて頂く機会を得ることができ、激励の言葉を頂きました。

判決以降は、インターンも私だけになり、新しく上訴された事件のファイル作りや資料のデータベースの作成をし、提出された争点に関する項目ごとに要約する作業を4月初旬まで行いました。この業務を通じ、新しく始まる事件の動き出しの部分も知ることができました。それと同時に、その事件はフランス語が公用語になっていて、フランス語の必要性というものを痛感させられました。フランス語の授業は受けているのですが、実用レベルには到底達していないので、これからもっと努力していきたいです。

その後、中央アフリカの、軍隊の上官責任に関する事件のチームに再振り分けされ、主に判決文の整合性の確認作業を行なっています。地味な作業ですが、確実性とスピードが求められる作業で、信用の裏返しだと捉えて前向きに頑張っております。

Green Legacy Hiroshimaの活動について

ライデン大学植物園で被曝樹木の管理をして下さっている Rinny 教授(写真左)が手配してくださり、ようやく、平和宮に寄贈された柿の木を見に行くことができました。無事に成長しており、問題なければ数年後に平和宮内の庭に植樹される予定だそうです。

また、ライデン市の運河の周りを囲うような形で公演があるのですが、そのリ



ニューアル後に、広島での被曝直後の写真と現在の写真を比較したパネル・説明文とモニュメント付きで銀杏の木を植樹することになっているようで、2019年完成予定なのですが、今からその時が待ち遠しいです。

インターン以外の過ごし方

休日の過ごし方に大きな変化はないですが、3月半ばには友人や後輩がオランダを訪れてくれ、オランダの案内をしたり、ルクセンブルクに出かけたりしました。日本からだとは非常に訪れにくい国なので良い機会になりました。

また、休日には市場へ出掛けて行って色々な食材を購入して調理しています。オランダはヨーロッパでも上位に入る農業国としての一面もあり、市場で購入する野菜や果物は非常に廉価

で、新鮮なものが手に入ります。

**インターン終盤に向けて**

早いものでインターンも残り2ヶ月となりました。現在配属されている事件の判決文の最後のまとめ作業が、自分自身にとっての集大成にもなってくると思うので、しっかりと与えられる役割をこなしてインターンとしての任期を全うしたいと思います。

また、6月には就職関連の試験も受験する予定になっているので、それに向けてもしっかりと準備をして良い結果を残せるよう、頑張っていきます！

6月25日(月)の当クラブの例会は  
最終例会・懇親会です  
18:30～ 於ANAクラウンプラザホテル広島

**<他クラブ例会臨時変更のお知らせ>**

(現時点で発表分のみ記載)

- 05/31(木) 広島北 RC → 休会
- 06/25(月) 広島中央 RC → 夜間例会
- 06/26(火) 広島 RC → 休会
- 06/28(木) 広島北・安佐 RC → 夜間例会
- 06/29(金) 広島城南 RC → 夜間例会

**情報発信コーナー**

No.007

**雑感 「人智を超えたもの！」**

先のGWに糸魚川市にあるフォッサマグナ・ミュージアムを訪れ、帰路草津温泉に立ち寄った。草津白根山の噴火警戒レベルが引き上げられて志賀高原ルートが使えず湯釜も立ち入り禁止なので長野・上田から迂回した。観測点が設置されていなかった本白根山から始まった今回の噴火活動やフォッサマグナ(大地溝帯)など、そこには何か「人智の及ばないもの」を感じさせる。科学技術の急速な進歩による恩恵に日々浴しながらも、一方で人智を超えたものへの畏敬の念も忘れてはいけないと感じた。



生谷武寛

**情報発信コーナー**

No.008

**子どもにもサングラスは必要？**

最近、子どもにもサングラスをかけさせたほうが良いと聞き、さっそく小学1年生の娘にも買ってやりました。お店に行ってみると・・・様々な種類の子どものサングラスが置いてあり・・・値段も大人顔負け・・・選んだサングラスはレイバン！（大門刑事風ではありません）GWに高い出費となりました。私が子どもの頃にはサングラスをかけた子どもなど居ませんでしたが、最近の野球少年はスポーツサングラスをかけて練習しているそうです！夏場のマツダスタジアムでも、ちょこちょこ見かけるようになりました！お子様、お孫様に検討されてはどうでしょうか？ またゴルフ場ではこれからの季節はサングラスが必需品です！グリーンが良く見えますよ！ただし・・・入るかは別ですが・・・



赤川浩二

5月14日 累計：1,447,122円 (本例会 21,000円)



- 早田良二：5月9日開催のカーブ観戦家族会では、多数のご参加ありがとうございました。天気も良く、皆さん大変満足された顔には安心しました。設営にあたり、佐々木誠会員ご尽力ありがとうございました。(1口) →お孫さんと一緒に楽しむことができたことに感謝しますということで、佐野庸子会員から1口ご出宝(1口)
- 佐々木誠：5月9日の野球観戦お疲れさまでした。皆様に喜んで頂き、良かったです。ただ、来年取れるかどうか分かりませんので、期待しないでくださいませ。(1口)
- 古本由美：①先日の家族例会では、カーブ大好きな姪の家族と観戦させて頂いて、ありがとうございました。姪の旦那さんを私の彼氏と思われた皆様にはお騒がせして申し訳ありませんでした。②先週の卓話ゲストの川野様から、会員の方より寄付金を振り込んで頂いたとお電話がありました。ありがとうございました。(2口)
- 高橋 潔：去る4月30日に、長男が無事に結納を済ませることが出来ました。少し安心出来ました。(1口)
- 花柳雅豊：去る5月4日、フラワーフェスティバルに、舞踊協会より子ども達を集めて、バラステージで日本舞踊を公演しました。少女達(少年も少々います)の踊りは爽やかで愛くるしくて良い舞台でした。(1口)
- 林 満生：妻の誕生日にキレイなランの花を贈って頂きました。とても喜んでます。ありがとうございました。(1口)
- 吉田範子：R I エコーの男性の方にお知らせいたします。本日、6/2全国大会用のジャケットをお渡しさせていただきます。宜しく願い申し上げます。(1口)
- 杉井英彦：また老いの繰り言です。今週の週報に「世界と日本」というエッセーが掲載されました。ご感想を頂ければ幸いです。(1口)
- 松原 進：ニコンコ箱でなくペコペコ箱です。急な事情でやむを得なく、退会させていただくことになりました。伊藤会長を初め、皆様方へ大変ご迷惑をお掛けすることになり、断腸の思いです。お世話になった広島東南ロータリーの皆様方にお礼申し上げます。(10口)
- カエルボックス：(1口)

## RI会長メッセージ他

## 横組みP1-P6



誕生月に、「ロータリーの友」の読評が宿題になっているが、5月はGolden Week 呆けで、何度読んでも、まとまらない。

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

**神辺 眞之** (ロータリー: 変化をもたらす) が今年度のRI会長のイワン R.I ライズリー氏のあげられたテーマで、「ロータリーの目的」として奉仕の理念を4か条からなる具体的実行内容 (P6) は理解できますが、「私たちを一つにするビジョン」は多様性を認めながらも、120万人のロータリアンを一つに纏めようとされている苦勞が覗われます。

世界で初めて1905年2月23日にシカゴロータリーが誕生し、日本では、1920年(大正9年)10月20日に、米山梅吉氏や福島喜三次氏らの努力で東京ロータリークラブの創立が最初だそうです。

ゆっくりとロータリークラブの創立時代の原点にもどって、激変する世界情勢におけるロータリークラブのあり方を考えてみたいと思います。

## RI会長メッセージ「私たちを一つにするビジョン」

## 横組みP3



東南ロータリークラブに入会して3年半になるのですが、いずれの同好会にも所属せず、委員会活動にも消極的で、各種イベントへの参加も数えるほどでただひたすらに例会にだけは参加している私にとりまして、このRI会長メッセージは新鮮な驚きでした。ロータリークラブが創設されて113年が経過し、全世界に3万5,633のクラブがあり、約120万人の会員がいるとのこと。

ロータリーの奉仕活動は、地域、国、クラブによって大きく異なり独自の方法が尊重される組織であるとされています。ただ、難題として「ロータリーという名称を知っている人は多くても、その活動内容、その構成、存在理由を理解している人はごく一部でしかない」ことが指摘され、さらに「ロータリーの中でも、ロータリーという組織、全体の目標、プログラムの内容や範囲を十分に理解していない会員が大勢います」には「まいりました。その会員はまさに私です」と言わざるを得ません。

これらの難題を払拭するための新しいビジョンが発表されています。それが

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世

界を目指しています」

というものなのですが私の琴線には触れないので、私のビジョンは「何が何でも例会出席」とします。

夢を現実にするー南極で越冬隊員を経験して  
縦組みP4-P8

**柄 博治**

つくば市役所の職員の方が南極観測隊員として1年4か月の職務を果たされた体験談です。最初はつくば職員としての仕事で養った庶務係等の経験が南極観測隊員として南極昭和基地における隊の行動の管理、各隊員が自分の仕事に集中できるように生活環境の整備等に通用するか試したいと書かれていましたが、現実には、それらの体験が今後のつくば市役所に復帰され市の政策調整業務にどう生かされるかだと思います。1年4か月もの間24名の多彩な技能を持たれた隊員の方が過酷な環境の中で共同生活をされその職務を果たされた経験は、きっと、つくば市の市役所の業務の中では大きく生かされるのではないかと思います。もし広島市役所にも、このような経験をされた方がたくさん在籍されたら住みやすい街になっていくのではないのでしょうか。

## 卓話の泉「在宅医療」

## 横組みP21



**蔦尾 健太郎**

在宅医療とは、医師や看護師、理学療法士などが通院困難の患者を自宅で診療、看護、リハビリなどを行うことをいいます。

保険診療が認められていて、様々な療法を取ることが出来ることに加え、訪問看護やリハビリ、歯科治療、薬剤管理といったいわゆるオーダーメイド医療が可能とのこと。

在宅医療は、入院や施設入所よりはかえって低コストとのこと。

2025年に、いわゆる団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)になり、いまの医療体制のままでは、医療体系が崩壊する恐れがあることを背景に、在宅医療の必要性が叫ばれているようです。

我がロータリーに在籍された松原先生が、この度、患者さんの在宅医療のため、やむなく退会なされるとの報告が先日の例会でありました。若輩者の私にも優しく話し掛けて頂いており、この度のお別れはとても残念です。在宅医療というタイムリーな記事が目に入り、今後の医療のあり方として、我々も無関心ではられない問題であることを痛感しました。